



平成24年度 当初予算

福 井 県

「にっぽんのふるさと」福井の躍進

- ・人とのつながりや人を元気にするふるさとの大切さが再認識された。
- ・今こそ、「ふるさと福井」を発信する絶好の機会にある。

①「ふるさと福井」の高い評価

- ・小中学生の学力・体力 日本一
- ・幸福度ランキング日本一（健康長寿、失業率、正社員率等）
- ・本物の化石が眠る「恐竜王国」、中世の街が原形で残る「一乗谷朝倉氏遺跡」
- ・生活に溶け込む寺社・仏閣や伝統的街並み
- ・「食育」のさきがけ、コシヒカリのふるさと等豊かな食文化

人を幸せにし、
人を元気づける
希望につながる地域
＝「にっぽんのふるさと」

②新しい動き 本県の立地条件が大きく飛躍

- ・北陸新幹線の敦賀までの認可方針決定、金沢開業（平成26年度）
- ・舞鶴若狭自動車道全線開通（26年度）、中部縦貫自動車道の整備進展

③「にっぽんのふるさと」福井の発信

- ・「つながり力」を生かした新しいふるさとの形成（「幸福度 日本一」の評価）
- ・ふるさと福井の良さを「外とのつながり」の強化へ

- 1 「にっぽんのふるさと」福井の発信
- 2 “世界に、未来に” 産業の推進
- 3 「時代をリードする」人づくりの促進
- 4 希望につながる「幸福度 日本一」の推進
- 5 「安全・安心」防災力の強化

1 「にっぽんのふるさと」福井の発信

- 舞鶴若狭自動車道全線開通や北陸新幹線金沢開業に伴うこれまでよりもスケールアップした観光拠点づくり
 - ・ダントツ日本一恐竜ブランドのレベルアップ
 - ・一乗谷朝倉氏遺跡のフィールドミュージアム化
 - ・歴史・文化を生かした観光地の整備



- 全国に誇れる「食の國ふくい」の発信

- 福井米の品質向上など農林水産品のブランド化

- ふくいブランドの価値向上と発信力の強化
 - ・ふくい南青山291のサテライト出店
 - ・北陸新幹線沿線等での観光営業の強化



【越前町江波の伝統的民家】



【越前がに】

恐竜博物館を拠点に、奥越一帯で発掘現場の見学やショッピングなどが楽しむことができる恐竜キッズランド構想の実現

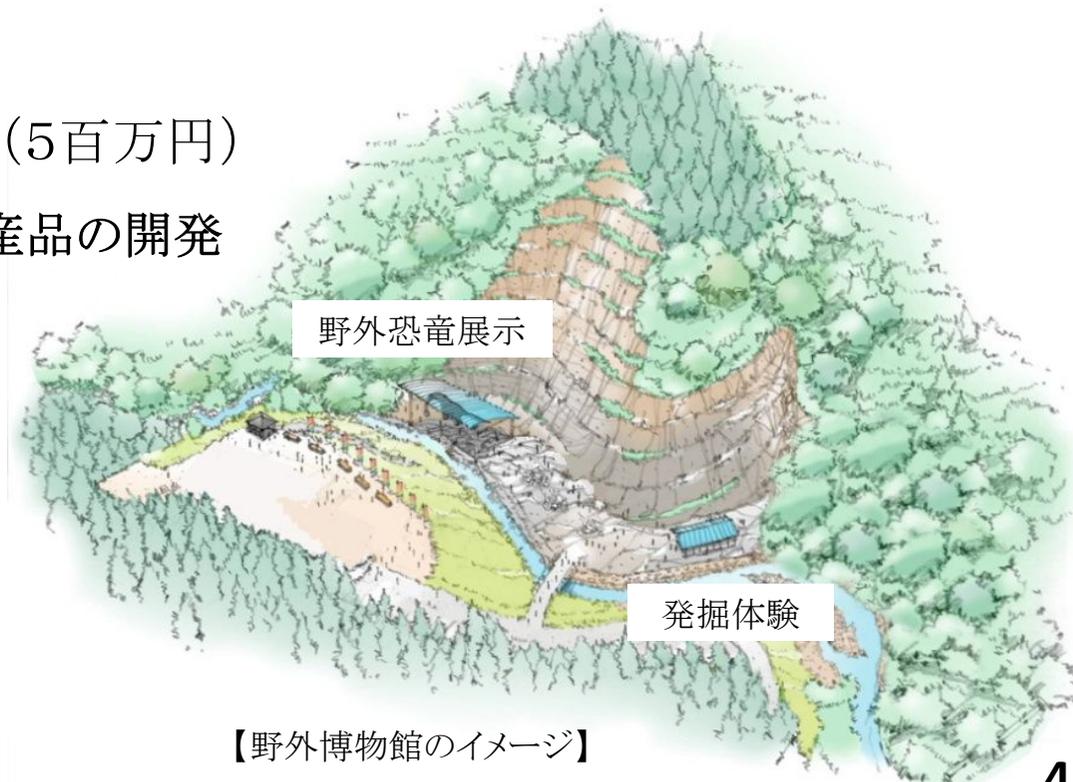
恐竜キッズランド構想推進事業（58百万円）

- ・恐竜化石発掘現場での実物足跡化石等を展示する野外博物館の整備
- ・第4次恐竜化石発掘調査に向けた現地調査



恐竜ブランドビジネス化推進事業（5百万円）

- ・オリジナル恐竜フィギュアなど新たな土産品の開発
- ・恐竜を使った県公認ロゴマーク・キャラクターを作成
- ・県内企業によるロゴマークを活用した販売促進



【野外博物館のイメージ】

遺跡の本物の価値や魅力を伝える来訪者へのサービスの向上

一乗谷朝倉氏遺跡レベルアップ事業（9百万円）

- ・遺跡全体の「フィールドミュージアム化」の展開
- ・遺跡の主要な箇所が立体的に眺望できる展望地点「物見台」の整備
- ・一乗谷朝倉氏遺跡資料館と遺跡を結ぶシャトルバスの運行
- ・価値ある出土品の資料館での展示公開を促進

（重要文化財約2,300点等を順次入れ替えて展示）



【「物見台」付近からの展望】



【資料館内部と出土品の例】



歴史・文化を生かした観光地の整備

観光まちなみ魅力アップ事業（25百万円）

- ・舞鶴若狭自動車道の全線開通に合わせた嶺南地域のまちなみ景観の整備などを支援

小浜西組、三方五湖周辺、敦賀港周辺、あわら温泉周辺



【小浜西組】

観光地周遊バス実証化事業（12百万円）

- ・北陸新幹線を利用した観光客等の二次交通の利便性向上

あわら温泉周辺の巡回バス、あわら温泉～恐竜博物館・永平寺文化財特別公開に合わせた嶺南地域の寺社仏閣の巡回



【観光地周遊バス】

花いっぱい運動推進事業（9百万円）

- ・車窓から楽しめる観光地など花いっぱい景観づくりを推進



【花の拠点のイメージ】

全国に誇れるおいしい福井の食と優れた食文化の発信

味わい学ぶ「ふくい 味の週間」推進事業 (23百万円)

「ふくい 味の週間(11月第2日曜日～第3日曜日)」
を定め、食に関係するイベントを『集中』して開催

・ふくい秋の旬 食育・地産地消フェア

地魚大テント市
県産農林水産物の試食・販売
全国高校生食育王選手権大会
そばまつり、全日本素人そば打ち名人大会



【食育・地産地消フェア】

- ・「高校生食育講座」やクラブ・サークル活動への支援
- ・小中学生を対象とした「味覚の授業」や「味覚の給食」
- ・「マタニティ お腹すくすくレストラン」



【味覚の給食】

食味の向上による売れる米づくりと統一ブランド化

おいしい福井米生産体制整備事業（480百万円）

- ・コシヒカリのふるさと福井米の品質向上

福井県産米販売強化事業（19百万円）

- ・統一名称を用いた登録制度の創設による首都圏での販売強化



【福井県を連想する統一名称に】

園芸生産の拡大と県外への販売強化

オールシーズン園芸モデル育成事業（106百万円）

- ・高浜町でCO2削減効果の高いヒートポンプを活用したハウス4棟(36a)の整備
- ・四季を通じたミディトマトの生産と県内外での販売拡大



新鮮で美味しい越前・若狭のさかなの消費拡大

越前・若狭のさかな販売力強化支援事業（27百万円）

- ・福井駅周辺で地魚テント市を開催し、あわせて観光客にPR



【地魚テント市】

福井の誇る食などふくいブランドの価値向上と発信力の強化

「ふくい南青山291」サテライトショップ出店事業（80百万円）

- ・福井の食品を提供する『専門店』として、都内にサテライトショップを出店
- ・ふくい南青山291での食品を中心としたテスト販売の強化
人が多く集まる場所での移動販売を実施



【サテライトショップのイメージ】

「もっと日本一」推進事業（10百万円）

- ・福井を代表する産品等を専門家の評価を得て全国発信

新書を活用したふくいブランド発信事業（10百万円）

- ・福井の歴史や食の専門家の著作等による情報発信



【越前うに】



【上庄里芋】

越前加賀エリアへの誘客促進（30百万円）

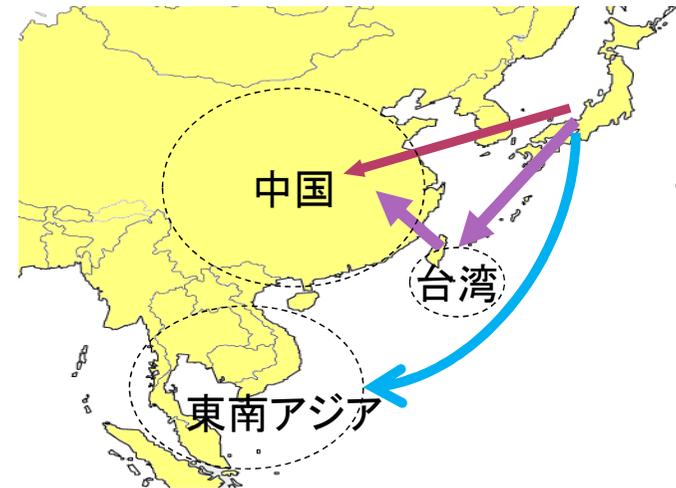
- ・北陸新幹線沿線等において「越前・加賀」をポスターや電子広告で売り込む



【明通寺】

2 “世界に、未来に” 産業の推進

- 中国などの現地関係者とのネットワークによる「ふくい貿易促進機構」の商社機能の強化
- アジアに開かれた県内港湾の活用促進
- 炭素繊維や太陽光発電織物の開発など新成長産業の育成
- ものづくり技術を継承する若手技術者の確保など産業人材の育成



【災害時対策用太陽光発電テント】

相談支援体制の整備から商社機能の強化へ

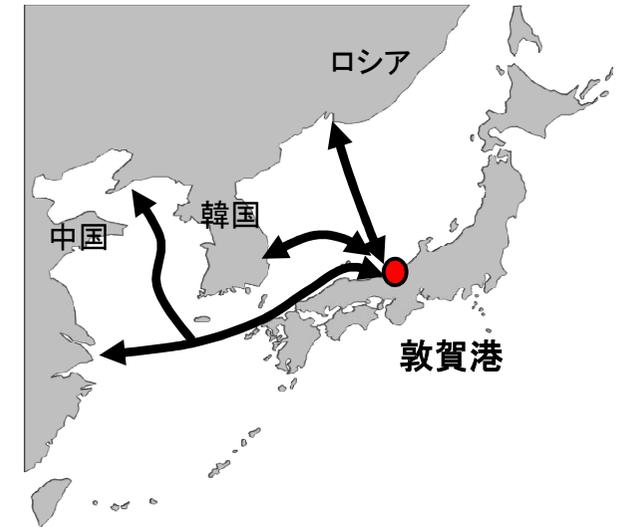
ふくい貿易促進機構運営事業（90百万円）

- ・「福井・中国貿易拡大会議（仮称）」の開催
中国、台湾との円滑な通商のためのネットワークづくり
- ・「福井産品応援者バンク（仮称）」の構築
中国等の流通関係者（50社）を登録し、県産品販売の応援者として活用
- ・成約率アップへ展示会・商談会出展をフルサポート
商談効果の高い展示会への出展・紹介（年間100社の出展を目標）
- ・県立大学地域経済研究所の充実
東南アジア市場の調査分析
海外留学支援等によるアジアで活躍する人材の育成

アジアに開かれた県内港湾の活用促進

港湾物流拡大促進事業（15百万円）

- ・ロシア極東港と県内港との将来の貿易拡大可能性調査
- ・韓国、中国と取引がある県外企業の輸出入品目、貨物量など、貿易に関する基礎調査
- ・韓国、中国の現地企業（船会社、荷主等）を対象としたポートセールス



【対岸貿易の促進】

敦賀港利用拡大事業（24百万円）

- ・県外企業の中国貨物への助成制度を追加

敦賀港鞠山南地区コンテナ・フレート・ステーション整備事業（94百万円）

- ・敦賀港の荷役作業の効率化と増加貨物への対応
〔概要〕 構造：鉄骨造平屋建（2,600㎡）
機能：輸出貨物の荷受け、コンテナ詰め
輸入貨物の取出し、仕分け、保管



【CFS外観】

炭素繊維による自動車ボディ等の開発 (鉄から繊維へ)

太陽光発電織物の開発 (いつでもどこでもクリーンエネルギー)

炭素繊維複合材量産化事業 (87百万円)

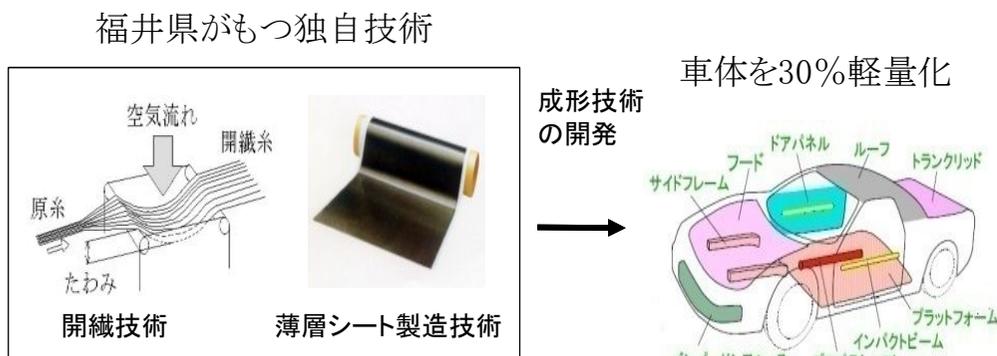
太陽光発電織物実用化事業 (76百万円)

- ・開織炭素繊維複合材の量産・大型成形技術を平成26年度早期に確立

- ・太陽電池を織物に織り込んだ太陽電池布の量産技術を平成25年度末までに確立

目標 年間売上50億円規模

目標 年間売上10億円規模



【屋内カーテンによる発電】

熟練技能者の技能を継承する若手技能者の確保とスキルアップ

技能「後継者」育成支援事業

(20百万円)

- ・熟練技能者を雇用継続し、若手技能者を新規雇用する小規模製造事業者

新規雇用者の人件費の1/2を助成
(上限100万円)



若者技能者能力アップ支援事業

(3百万円)

- ・「福井県技能競技大会」の開催
工業系(旋盤等)
調理系(日本料理等)
- ・チャレンジする若手技能者を応援
「技能五輪全国大会」など全国規模の技能大会参加費用を助成



3 「時代をリードする」人づくりの促進

- 幼児教育から高校生学力向上まで福井型18年教育の推進
- 研修の強化やICTを活用して教員の授業力アップを強かに推進
- 新たな英語教材の開発や外部専門家の授業指導による英語力の向上
- 企業・産業界の応援を得て職業系高校のカリキュラム等を充実
- 平成30年国体に向けたスポーツの振興と体育施設の整備



【ALTを活用した英語教育】

福井型 18年教育の推進

幼児教育から高校教育まで教育の水準を一貫して高める

(1) 幼児教育の充実

幼児教育推進事業 ・「幼児教育支援プログラム」の策定と「幼児教育支援センター」の設置
(14百万円) ・地域の小学校を中心に保幼小連携のカリキュラムを導入
・一日保育体験の推進による家庭教育力向上

(2) 日本一の小中学生の学力をさらに伸ばす

小学校教員理科指導力向上事業 ・小中学校の理科教員が「観察・実験指導集」を作成
(1百万円)

算数Webシステム活用事業 ・小学校算数の单元ごとの評価テストをICTを
(3百万円) 活用して、全県で比較・活用

中学校英数学力向上事業 ・英語と数学に習熟度別の少人数指導を導入
(98百万円)

(3)教員の授業力アップと高校生の学力向上

高校生学力向上推進事業 (27百万円)

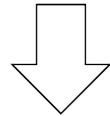
- 難関大学の志望者対象講座(土曜チャレンジセミナー)を拡充
1年生の数学・英語に加え、2年生の数学・英語・物理・化学を開始
- 各学校の授業研究体制の強化
外部専門家の助言を授業研究会で活用
学力分析を踏まえた独自教材をさらに充実
- 生徒の学習意欲・学習状況調査の分析
生徒へのアンケート調査に基づいた指導方法の改善

新たな英語教材の導入、授業を改善する体制を整備

英語力向上事業（70百万円）

<これまでの施策>

- ・生徒のTOEIC受験や海外語学研修
- ・高校生英語ディベート大会や英語キャンプの開催
- ・ALTの活用
- ・日常的なリスニング（イングリッシュシャワー）



<新たな施策>

- ・NHKと連携した本県独自の英語教材の開発・活用

NHK教材を英語力を伸ばす授業に活用

「聞く 話す 読む 書く」の4技能を伸ばす独自のテキストを作成、活用

- ・県内4ブロックごとの授業改善のシステムを構築

英語指導改善拠点高校1校、実践校2校（中高各1校）を指定

海外語学研修（4週間）を受けた教員を中心にブロック全体の研究会開催



【英語キャンプ】

職業系高校と産業界の連携強化による人材育成

企業連携型地域産業担い手育成事業等 (89百万円)

- ・熟練技術者が講師として生徒を指導 (約600回)
- ・生徒の長期企業実習の導入 (10日間 64人)
- ・教員が企業等で実技研修 (5日間 10人)
- ・生徒の資格取得支援や優秀者の表彰
ものづくり全国大会出場の支援 (12人)



【工業高校の旋盤実習】



【全国大会に向けた作品製作】

平成30年国体に向けた競技力向上と施設整備

競技力向上対策事業 (272百万円)

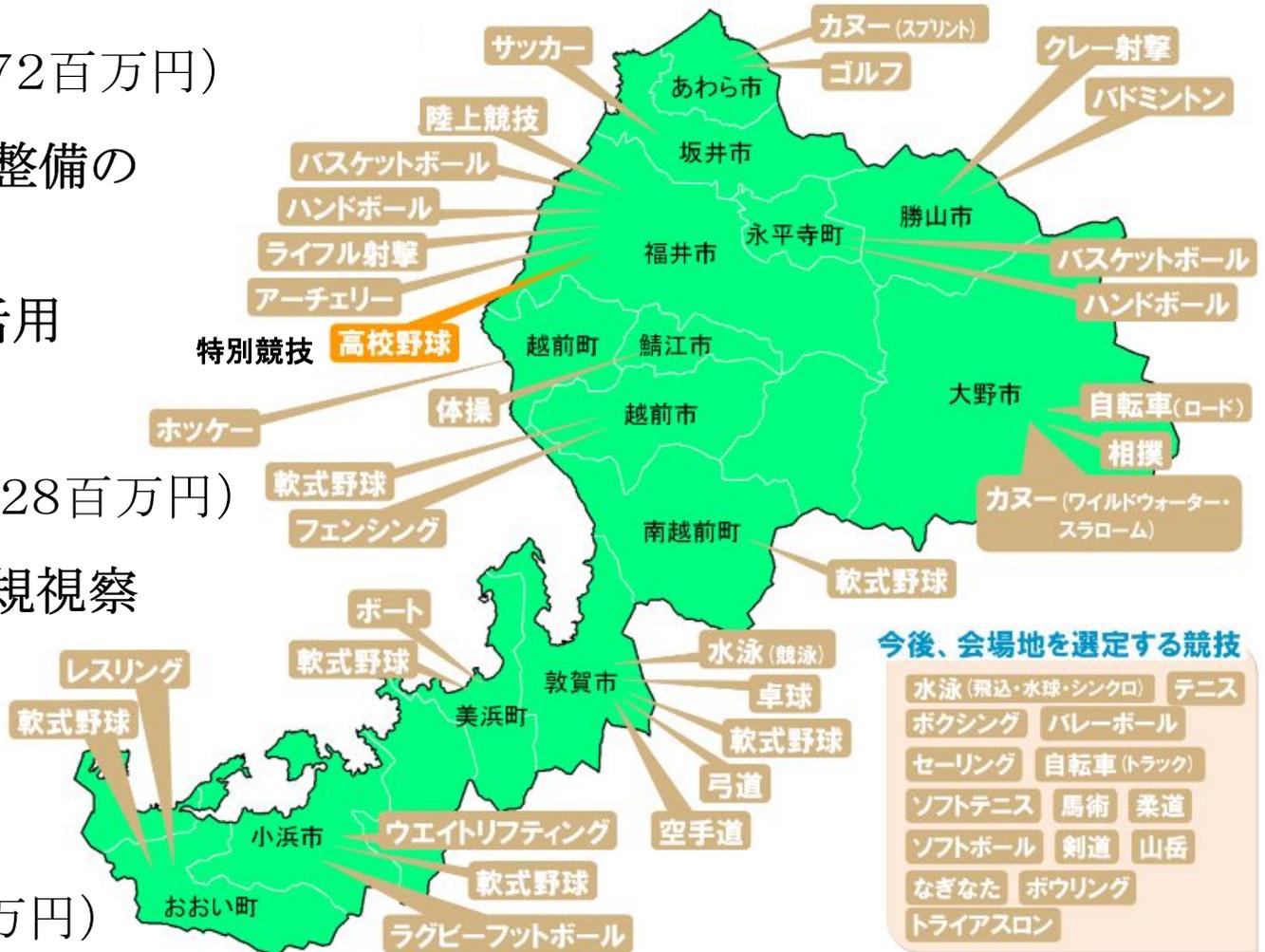
- ・各競技の選手育成や備品整備の支援強化
- ・スポーツ医・科学をさらに活用

開催準備を着実に推進 (28百万円)

- ・中央競技団体の会場の正規視察
- ・大会愛称、スローガン制定
マスコット募集

体育施設の整備 (174百万円)

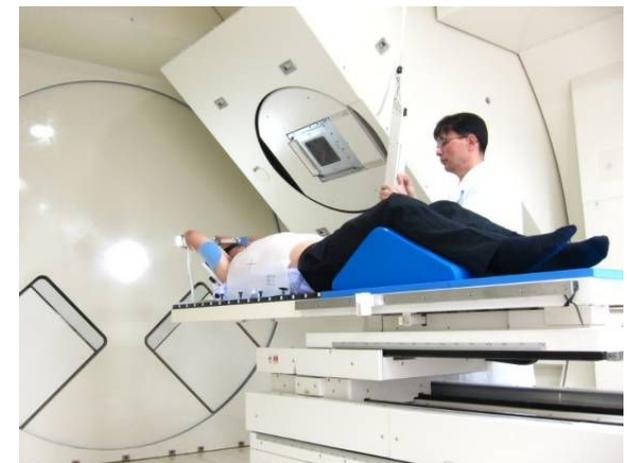
- ・ホッケー場、クレール射撃場、漕艇場・ボートハウス



【競技会場地の決定状況】

4 希望につながる「幸福度 日本一」の推進

- 海外や県内外でチャレンジする若者への応援の充実
- グループや団体、企業において女性が活躍できる環境の整備と子育てしやすい働き方の応援
- 陽子線治療を受けやすい体制づくりとがん予防・治療対策の充実
- 要介護高齢者に対する24時間サービスの充実や介護スタッフの育成



【陽子線がん治療】

海外や県内外でチャレンジする若者への応援の充実

若者チャレンジ応援プロジェクト（13百万円）

- ・「ふくい若者チャレンジクラブ」の活動を支援

「ふくいの応援隊」による地域活動の支援
メンバーの交流会や勉強会に支援



【若者チャレンジクラブ発足】

- ・若者のチャレンジ活動を応援

県内活動に加えて、県外・海外へのチャレンジを応援
デザイナー、アーティスト、料理などの分野で武者修行に
出る若者を応援



【勉強会開催】

女性リーダーの出やすい社会づくり

働く女性の活躍支援事業（4百万円）

- ・女性リーダーとして必要な知識を学ぶプログラムの実行
- ・企業などで女性社員の相談相手となるメンターの養成



【企業で活躍する女性の交流】

次世代女性グループ等育成事業（1百万円）

- ・若い女性の団体活動を応援、リーダー候補の女性を対象とする講座の開催

子育てしやすい働き方の推進

子育てしやすい働き方応援プロジェクト（4百万円）

- ・「企業子宝率」上位10社を「子育て応援企業」として選定し、他企業に波及
- ・従業員が定時退社した比率を競うなど、子育てしやすい働き方の推進と家族時間の伸長

陽子線治療を受けやすい体制づくり

陽子線がん治療費等助成事業（27百万円）

- ・県民への治療費助成（全国で最も安い料金での治療が可能）
- ・嶺南地域の住民のための交通費支援

がん検診の受診率をさらに向上

元気長生きがん予防推進事業（180百万円）

がん検診予約システム整備事業（18百万円）

- ・市町がん検診の料金統一など受診の利便性向上
受診率 21.1%（18年度）から28.7%（22年度）に
- ・インターネットや携帯サイトを通じて、がん検診の申込みが24時間可能
（全県下での実施は「全国初」）

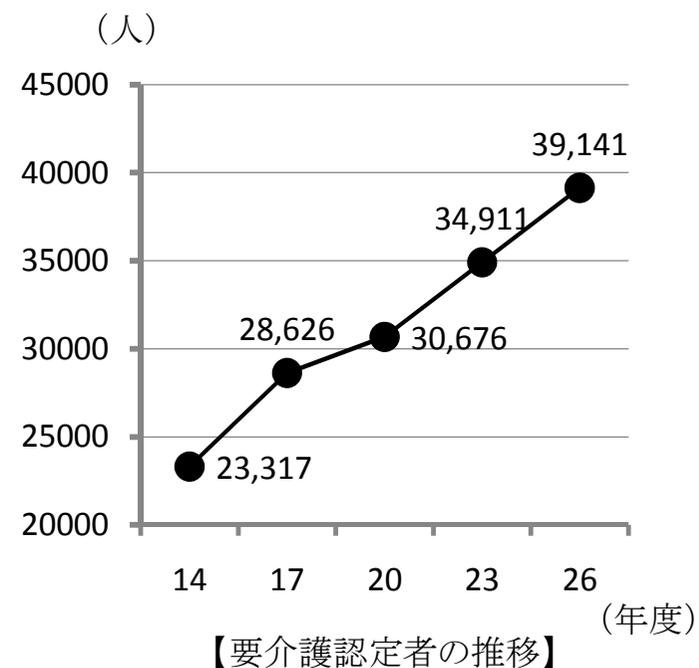


【乳がん検診】

在宅サービスをさらに充実

つながりで築く在宅安心プロジェクト（95百万円）

- ・バリアフリーなど要介護高齢者の住宅改修への支援
- ・中重度の要介護者にも対応可能なサービス付き高齢者向け住宅建設への支援
- ・訪問看護ステーションの24時間サポート体制整備への支援
- ・在宅医療・介護スタッフの研修など人材の育成



5 「安全・安心」防災力の強化

○無線・有線・衛星などの防災通信
システムによる通信手段の多重化

○放射線監視体制の強化や
原子力災害制圧道路の整備

○地域の特色を活かしたエネルギー源の
多角化の推進



【環境放射線測定装置】



【農業用水の活用】

災害時の防災通信網の強化

防災通信網強化事業（149百万円）

- ・災害時の迅速・確実な通信手段の確保

原子力防災ネットワークシステムの追加整備

全ての市町、オフサイトセンター等に屋内外兼用衛星電話を整備

県庁と国を直接つなぐ専用衛星回線を整備

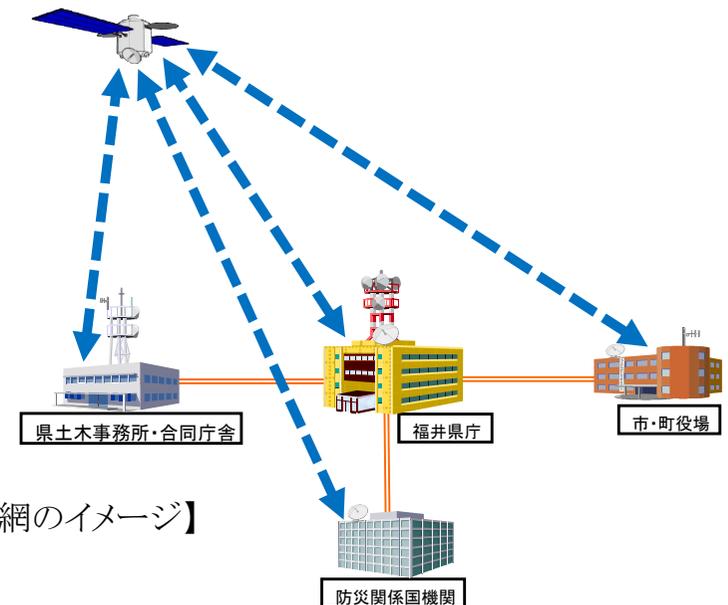
有線による緊急時連絡網を追加整備

（新規整備 福井市、鯖江市、越前市、越前町、池田町）

災害時に全ての住民に迅速・確実な
情報伝達手段の検証

防災情報ネットワークシステムの再整備

通信手段の多重化（無線・衛星・有線）に
向けた実施設計



原子力防災対策の拡充

原子力防災活動資機材整備事業（223百万円）

- ・県民向けの安定ヨウ素剤の配備
- ・学校へのサーベイメータの新規設置
- ・防災従事者へのポケット線量計等の追加配備



【ポケット線量計】

放射線監視体制強化事業（266百万円 2月補正788百万円）

- ・環境放射線測定装置（モニタリングポスト）の増設
- ・観測局舎の耐震化
- ・全市町への放射線量表示装置の整備
- ・可搬型モニタリングポストの追加整備



【サーベイメータ】

原子力災害制圧道路等整備事業（3,000百万円）

- ・迅速な初動体制、事故制圧のための道路整備
敦賀半島、大島半島、内浦半島でのバイパス整備

エネルギー源の多角化と未利用エネルギーの利用促進

地域主導型再生可能エネルギー等事業化促進事業（5百万円）

- ・「1市町1エネおこし」を目標とした基礎調査、事業化検討への支援

住宅用太陽光発電設備・蓄電池導入促進事業（79百万円）

- ・新たに蓄電池導入支援を実施

農業用水小水力発電整備事業（64百万円）

- ・日野川用水における小水力発電施設整備

農業用水小水力発電可能性調査事業（10百万円）

- ・県内47地区の用水路の可能性調査

県有施設未利用エネルギー活用事業（15百万円）

- ・九頭竜川浄化センターでの消化ガスを活用した発電 等



【九頭竜川浄化センター】

平成24年度当初予算の規模

◎ 一般会計の予算規模は **4,769億円**

対前年度(6月補正後)比4.9%の減

会 計	24年度 当初 ①	23年度 6月現計 ②	増 減 (①-②) ③	伸び率 (③÷②)
一般会計	476,882	501,347	△24,465	△4.9%
特別会計	13,071	14,112	△1,041	△7.4%
企業会計	30,364	28,931	1,433	+5.0%
計	520,317	544,390	△24,073	△4.4%

(参考)一般会計予算規模の推移(平成19~24年度)

